

## 【おおかみさん】指導略案

●日時：令和7年9月19日（金）13：40 ～ 14：15

●場所：低学年ホール

●ねらい：友だちとの活動を楽しむ。

友だちのことを助けようとする。

●活動内容

時間	内容	指導上の留意点
13：40 13：42	はじめのあいさつ 学習内容や目標を確認する。 ◎目標：おおかみに捕まりそうな友だちを助けよう ◎学習内容：おおかみさん  歌に合わせて友だちと手をつないで歩く。 オオカミが登場したら逃げ、フラフープの中に入る。 フラフープの中に入らず、オオカミに捕まりそうな友だちがいたら助けに行く。	★おおかみ役 ・見本に注目するよう言葉かけする。 ・目標を提示して視覚的に確認できるようにする。
13：45	「おおかみさん」に取り組む。 (2、3人で手をつないで歩く。)  「もりのこみち」 繰り返し ♪もりのこみちさんぽにいこう おおかみなんか こわくないよ おおかみなんか こわくないよ おおかみさ～ん おおかみさ～ん 狼：「ああ、いま おきたところだよ。」 「いま、シャツをきているところだよ」 「いま、ズボンをはいているところだよ」 「いま、うわぎをきているところだよ」 「いま、くつをはいちるところだよ」 「いま、ぼうしをかぶっているところだよ」 「さあ、にんげんをたべにでかけよお～」	・指導者が児童と一緒に「もりのこみち」の歌を歌い、楽しい雰囲気の中で歩くことができるようにする。 ・友だちとしっかり手をつないで歩くことを言葉かけする。 ・オオカミに捕まりそうな友だちに注目を促す。捕まりそうな友だちの手をつないで助けに行くよう言葉かけする。 ・けがのないよう留意する。
14：10	ふりかえり (本時でがんばったことや、上手にできたことを確認する。)	
14：15	終わりのあいさつ	

●準備物：目標を記載した紙・フラフープ（4つ）・オオカミのお面

※「おおかみさん」遊びの概要：狼が眠っている間は、児童は手をつないでぐるぐると歩いている。歌の進行とともに狼の支度が進み「さあ、にんげんをたべにでかけよう！」というフレーズで、狼は児童を襲いにかかる。児童は安全地帯であるフープの中に入れば襲われない。入れない児童は狼に襲われそうになるので、フープに入っている児童がフープ外の児童を助けるように促していただければと思います。

## 『おおかみさん』実践報告

実践回数：9月17日（水）、9月19日（金） 2回

実施場所：低学年ホール

ねらい：友だちと一緒に活動することの楽しい雰囲気共有する。  
安全な場所に自分で入ることができる。  
友だちのことを助けようとする。

活動内容：「おおかみさん」

- 歌に合わせて友だちと手をつないで歩く。
- オオカミが登場したら逃げ、フラフープの中に入る。
- オオカミに捕まりそうな友だちがいたら安全地帯のフープの中に連れていく。

支援方法：「もりのこみち」の歌に合わせて歩くことで、楽しい雰囲気を取り組めるようにする。

- 安全地帯がわかるように言葉かけをしたり、指差ししたりする。
- 授業のはじめに、友だちが安全地帯に入っていない場合などは積極的に助けに行くように促す。

児童の様子：・フラフープの中に入っていない友だちの手をつなぎ、自ら児童を助けようとする姿がみられた。

- 活動はみんな楽しそうだったが、オオカミが怖くて、動けず立ちすくむ児童もいたり、オオカミから追いかけられたりするのが楽しくなって逃げ続ける児童もいた。
- 児童同士で手をつないで歩くことが定着した。